

## 令和6年度 第1回沖縄県がん診療連携協議会 ベンチマーク部会 議事要旨

開催日時：令和6年5月31日（金）13:00～14:00

場 所：Zoom を利用した Web 会議

出 席：8名

有賀拓郎（琉球大学病院診療情報管理センター副センター長）、井岡亜希子（まるレディースクリニック院長）、伊藤ゆり（大阪医科薬科大学研究支援センター医療統計室室長准教授）、埴岡健一（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科教授）、東尚弘（東京大学公衆衛生学健康医療政策学教授）、山里紘美（沖縄県保健医療介護部健康長寿課主任）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター長）、伊佐奈々（琉球大学病院がんセンター診療情報管理士）

欠 席：2名

天野慎介（全国がん患者団体連合会理事長）

平田哲生（琉球大学病院診療情報管理センター長）

陪 席：3名

鈴木達也（国立がん研究センター企画戦略局次長）、和田佐保（国立がん研究センターがん対策研究所がん医療支援部がん医療支援企画室室長）、西佐和子（琉球大学病院がんセンター事務）

### 【報告事項】

#### 1. 今年度の委員について

増田部会長より、資料1に基づき、今年度の部会委員についての報告があった。

#### 2. 令和5年度 第16回ベンチマーク部会議事要旨について

増田部会長より、資料2に基づき、ベンチマーク部会の議事要旨について説明があった。

### 【協議事項】

#### 1. 部会長、副部会長の選出について

前年度に引き続き、部会長に増田委員、副部会長に埴岡委員ということで決定した。

#### 2. 医療者調査について

増田部会長より、資料3-1、3-3に基づき、医療者調査報告書の説明があり、さらに詳細な解析をがんセンターからNPO法人に委託したと報告があった。

続いて、東委員より、資料3-4に基づき、結果の最頻値と不明割合について説明があっ

た。「分からない」という回答が多いという点で分析をどうするか等、課題がいくつかあったが、時間の都合上、詳細な議論は次回に持ち越しとなった。

### 3. 第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）の進捗評価について

増田部会長より、資料4-1,4-2,4-3に基づき、第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）の指標とデータベースについて説明があった。

### 4. 第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）における死亡率、罹患率、進行がん罹患率、5年生存率を算出するがん種について

増田部会長より、資料5に基づき、死亡率、罹患率、進行がん罹患率、5年生存率を算出するがん種について提案があり、委員に意見を求めた。

#### <がんの予防>がん種別年齢調整罹患率・死亡率

伊藤委員より、国の方では乳房も入っているが、あえて乳がんを省いている理由について質問があった。増田部会長より、閉経前後というところでクリアな値にならない可能性があるという回答があった。

伊藤委員より、五大癌のひとつである乳がんは増えているので減少できないかもしれないが、省いているのは違和感があるのではないかと意見があった。

井岡委員より、閉経前乳がんの罹患や死亡を算出していくのであれば、乳がんを入れてもよいのではないかと意見があった。

東委員より、閉経前後に関しては定数が分かっているから混ざっていると感じる。他のがんも結局、予防が可能なメカニズムで発生している癌とそうでない癌は、その要因が分からないだけで混ざっているのではないかと意見があった。

以上、協議の上、乳がんを追加することになった。

#### <がん検診>検診がん種別進行がん罹患率・年齢調整死亡率

特に異論はなく、提案された五大がんで決定となった。

#### <がん医療提供体制>がん種別5年生存率

特に異論はなく、提案された9つのがん種で決定となった。

#### <個別のがん対策>希少がんの5年生存率

東委員より、脳腫瘍に関しては、専門家からすると、精度に少し問題がある可能性が残るため省いてもよいのではないかと意見があった。

#### <個別のがん対策>難治性がんの5年生存率

伊藤委員より、定義付けされていれば問題ないのではないかと意見があった。

増田部会長より、難治性がんにおいても脳腫瘍はどうすべきか、委員に意見を求めた。有賀委員より、臨床の立場から脳腫瘍と言えば膠芽腫というイメージがあるため、膠芽腫以外が入るとだいぶ粗いデータになるため、東先生の意見に賛同するとの意見があった。

#### <個別のがん対策>小児がん患者の5年生存率

#### <個別のがん対策>AYA世代のがんの5年生存率

増田部会長より、予防と検診で子宮頸がん、乳がんをみているのでAYA世代では省いていると説明があった。

伊藤委員より、沖縄県の5年生存率を集計する予定があるか質問があり、増田部会長より、現在は集計できないとの回答があった。東委員より、沖縄県の5年生存率のデータは数が少ない点が問題であると意見があった。伊藤委員からも、全がんでみたほうがよいかもしれないとのことだった。

以上、様々な意見があったが、時間の都合上、後日メール審議を行うこととなった。

#### 5. 第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）の改定について

増田部会長より、資料6に基づき、第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会版）の改訂について提案があった。総論として特に意義がなく、承認された。埴岡部会長より提案があり、セカンドオプションとして、奈良県、島根県、愛媛県以外のがん対策推進計画も確認することとなった。

#### 6. 次回の開催日程について

増田部会長より、月1回のペースで開催することが提案され、了承された。

次回は6月下旬に開催予定。

#### 7. その他

ベンチマーク部会のロジックモデルをまずは事務局でたたき台を作成することになった。